

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
平成30年11月15日（木）
- 2 確認箇所
6号機原子炉建屋オペレーティングフロア
- 3 確認項目
新燃料の所外搬出準備作業の状況確認

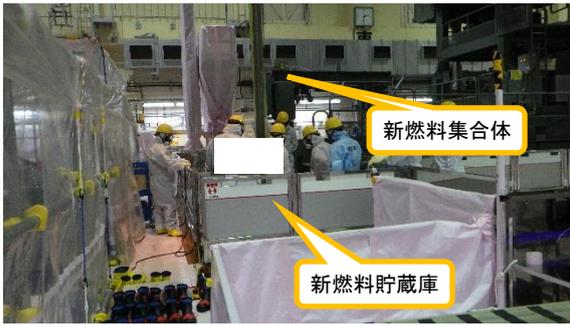
4 確認結果の概要

5・6号機で保管されている新燃料を燃料加工メーカーの工場に搬出する計画があり、6号機において新燃料搬出に向けた準備作業が行われていることから作業の状況を確認した。

新燃料の搬出までの工程は、概ね、①新燃料貯蔵庫からの新燃料の引き上げ ②新燃料の解体・除染・再組立 ③輸送容器への収納 ④輸送容器の運搬車両への積載、搬出 となるが、現段階では搬出時期が未定であるため、準備作業として、①～③の新燃料の解体・除染・再組立までを行い、搬出までの間はオペレーティングフロア（以下、「オペフロ」という。）にある新燃料貯蔵庫で保管することになっている。

今回は、6号機原子炉建屋オペフロで行われている、①新燃料の引き上げから②の新燃料の解体及び除染作業の状況を確認した。

- ・天井クレーンで新燃料貯蔵庫から引き上げられた新燃料（写真1）は、汚染拡散防止ハウス（ビニール製）内の作業スペースで、燃料棒1本毎に引き出すことができるように解体されていた。
- ・解体された燃料棒は、1本毎に汚染拡散防止ハウス内に設置された自動除染装置に送り込まれて、研磨材を混入した水を吹きかける方法により、連続的に除染されていた。
- ・除染が終了した燃料棒は、自動で汚染拡散防止ハウス外の検査及び再組立作業スペースに搬出され、検査員が外観を検査した後、除染後の汚染状態を検査（スマヤ検査）するための試料を採取していた。
- ・スマヤ検査で汚染がないことが確認された燃料棒は、新品の部材を用いて燃料体に再組立され、ビニールで養生後に新燃料貯蔵庫で保管されることになる。



(写真1)
新燃料貯蔵庫から新燃料（集合体）
を引き上げている状況
（写真左側のテント内で解体作業が行
われる。）

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。